

【報告者】

【学 年】 4 年

【教科・単元名など】 体育「サッカー型ゲーム」

【実践内容】

足でパスをしたり、パスがもらえるところへ移動したりしながらボールを運び、シュートして相手チームとの得点を競い合うことを楽しむ。

【学習のねらい】

- ・チームの仲間に慣れる。
- ・チーム力を高める。
- ・スペースを意識した動きを知る。

【学習の流れ】

単 元	
ねらい 1	ねらい 2
みんなで決めたルールやチームの仲間に慣れながら、パスを出したり、もらったりしながらゲームを楽しむ。	みんなでスペースを意識した攻め方・守り方を工夫してゲームを楽しむ。
1 めあて・ルール・練習内容の確認(3分) 2 準備運動(3分) 3 練習(15分) ~7分×2セット; 5分×3セット 4 試合～2ゲーム～(約16分) 6分×2試合 中4分振り返り・練習 5 振り返りと 次時のめあて・練習内容決め(約8分)	1 めあて・ルールの確認(5分) 2 準備運動(5分) 3 試合(約0分) 4 振り返り(4分) 5 試合(約0分) 6 振り返り(4分) : : 7 学習のまとめと 次時のめあて決め(約5分)

最初は
試合時間
を短く、
だんだん
長くする。

【知的好奇心について】

- ・チーム練習を行い、チーム力を高める。
- ・ゴールを1チーム2つ(ハードル)にする。

【ひびきあい】

- ・チーム力を高めるための練習での関わり。(チームの現状から、練習内容を選択する.)
- ・ボールを持っていない子の動き(スペースの使い方)

ゴールを小さいハードルにしたことで、大きくけり出す子は少なく、ボールをつなぐ意識が高かった。ゴール前が詰まっていると逆サイドのゴールへチームメイトが大きな声で呼びながら走り出し、得点につなげていた。スペースを意識できるようになっていた。練習では、各チームのサッカー経験者が中心に動き方をアドバイスしながらボールをもらいやすい位置を教えていた。ねらい2では、大コートで、最初は全員がボールに集まっていたが、ボールのもらい方を意識したチームメイトの声かけで、徐々に広がり、大きくけり出しながらパスサッカーを展開している。